

## <熊本支部例会事前抄録>

日時：2020年6月23日(火)19:30～

会場：ZOOM

- 一般講演抄録 1

### 包括的治療において可及的に歯の保存を試みた1症例

飯干 光男 ひかり歯科クリニック

〒867-0034 熊本県水俣市大黒町2-3-12

#### ■ 抄録

適切な補綴設計と、インプラントによる欠損補綴により、長期の良好な予後が可能となる。

一方で、エムドゲインに代表される再生療法の登場で、以前ならば抜歯の適応だと考えられていた歯の保存も可能となってきた。

臨床においては、患者は経済的また外科処置に対する心理的、身体的な負担、術者側では自身の技術的、予後の予見の不確かさからの不安から「手を尽くし、保存したほうがいいのか」「抜歯して、インプラントがいいのか」と悩む場面も多い。

本症例は、抜歯が適応であると考えられたが、患者が歯の保存を強く希望し抜歯の同意が得られなかったため、予後不良の可能性と治療後の治療介入を容易にする治療方針を説明したのちに、歯の保存を行ったものである。

本演題に関して開示すべき利益相反状態はありません。